

ぬける青空、涼やかな清流

# ハイキングを楽しもう。



毛呂山町は鎌倉街道や、史跡が数多く残る町。  
また、県立黒山自然公園があり、  
豊かな自然を楽しむことができます。

この夏、毛呂山町でハイキングを楽しみませんか。  
少し歩けば、日常と違う風景に出会えます。

毎週、吉見町から愛犬と一緒に  
毛呂山町までハイキングに来て  
いるという。「今日は、鎌北湖  
から獅子ヶ滝ししがたきを通して北向地藏  
に向かいます」

## 歩き始める前に…

楽しいハイキングのはずが、ケガをしては大変です。  
準備運動などをしてから歩きはじめましょう！



### 正しい靴の履き方



①かかとを上げ、紐を下からしっかりと締め、1回結び、両手でゆるまないように持つ。



②両手で紐を持ったまま、かかとで地面をトントンと軽くたたき、かかとと靴をフィットさせる。



③靴底を地面にぴったりとつけ、靴の紐をしっかりと結ぶ。つま先に余裕を持たせましょう。



### ストレッチの例

反動をつけず、ゆっくりと体をほぐしましょう。



呼吸はとめないようにね



周りにあるものを利用して行うのもいいわよ

決して無理をしないように気をつけましょう。





ぬける青空、涼やかな清流  
ハイキングを楽しもう

## 鎌倉街道周辺



1

いつも通っている道に、たくさんの文化財があることに驚きました。

歴史好きのお父さんに誘われて、資料館の周りを歩くイベントに参加しました。色いろなものが見られて楽しかったです。

『鎌倉街道ミニツアー』に参加した  
仁木一貴さん  
と元春くん



1 毛呂山町の東部を南北に走る鎌倉街道。保存状態がよく、未舗装のまま現存しているため、多くの歴史ファンが訪れています。2 前方後円墳。近隣の皆さんが手入れをしてくださっているので、古墳の形がよくわかります。3 苦林野古戦場の碑の奥にある千手観音像。4 十社神社にある古墳。このあたりは高台で、高台にそって数多くの古墳群が見つかっています。



2



4

### 歴史のロマンが香る道

6月14日に行われた歴史民俗資料館・東公民館共催『鎌倉街道ミニツアー』のルートを参考に、資料館周辺を歩いてみました。まず、資料館の裏から鎌倉街道へ入ります。古の武将はこの道を通って鎌倉に馳せ参じたのです。数々の歴史的なできごとの舞台となった街道を感慨深く歩きます。

やがて大類グラウンドが見えてきました。このあたり一帯は、堂山下遺跡と呼ばれ、グラウンドを作る際の調査でも、数多くの遺跡が発見されました。先に進むと、こんもり土が盛り上がっている不思議なものを見つけました。前方後円墳です。毛呂山町には大小あわせて約百基の古墳があるといえます。教科書で古墳について習いましたが、こんな身近なところにあるなんて驚きです。

苦林野合戦供養塔、稻荷神社、十社神社を巡り、やがて長い水路にぶつかりました。水路は外敵の侵入を阻むかのように、大類の集落を囲んでいます。江戸時代の宿場を思わせる古い町並みは、はつきりと残る貴重な場所です。

出発してから、約1時間で大類館に到着しました。館は町民なら1日3千円で借りられるので、最後に皆で料理を作って楽しむこともできます。仕上げに資料館に寄って、さらに歴史について知識を深め、少し賢くなった気分が帰路につきました。

・新発見の古墳  
稲荷台の古墳。レーザー光で地形を測る技術を応用して、見つけるのが困難な山林のなかの古墳を発見しました。



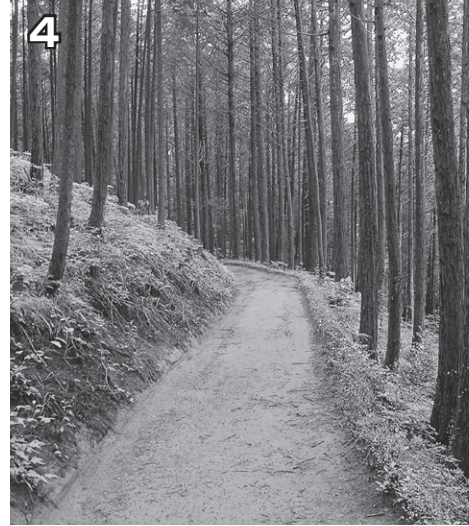
## 鎌倉街道周辺



ぬける青空、涼やかな清流

ハイキングを楽しもう

## 鎌北湖周辺



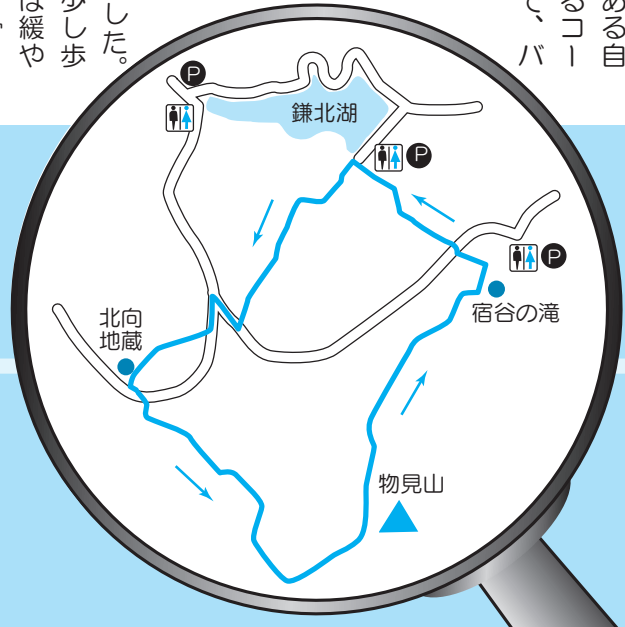
### 森の道には様ざまな表情がある

毛呂山町は県立黒山自然公園のある自然の宝庫。しかも、家族で楽しめるコースから、ベテラン向けのコースまで、バラエティに富んでいます。今回は鎌北湖を起点とする全長4.7キロメートルの短いコースを歩いてみました。

鎌北湖ユースホステル前の入口からスタートです。なかに足を踏み入れたとたん、ぐっと涼しくなりました。辺りからは絶え間なく小鳥のさえずりが聞こえ、まるで別世界にきたようです。

15分ほど歩くと舗装道路に出ました。巾着田方面を目指し、舗装道路を少し歩いて、再び山道に入ります。傾斜は緩やかですが、前日に雨が降ったせいで滑りやすく慎重に歩きます。何度か分かれ道がありました。道なりに歩けば迷うことはありません。大きな分岐点には案内板があるので安心です。

15分後に北向地藏に到着。写真を撮ると、物見山を目指します。しばらく、なだらかな赤土の道が続きます。思わず鼻歌がでるくらい、歩きやすい気持ちのいい道です。途中で東屋があったので、小休止を取りました。出発してからここまで約1時間です。東屋を出ると、急な道の傾斜がきつくなりました。日ごろの運動不足がたたって、一気に息があがりません。10分後ようやく物見山に到着。それまでの疲れを忘れさせる眺望が広がり



・北向地藏  
天明の大飢饉の際、その災いを防ぎ、罹災者の冥福を祈るため、遙か北の岩船地藏尊へ向かって建てられました。

## INTERVIEW



### 途中で出会ったハイカー (所沢市ほか)

今日は、日高市から入り、宿谷の滝を通してきました。これから、鎌北湖を抜けて、北向地蔵に向かいます。

高い山に登るための訓練も兼ねて、ハイキングを楽しんでいます。奥武蔵自然公園内には、5年前からいろいろなルートを巡っていますが、ここは案内表示がたくさん設置されているので迷わないし、景色がよく、歩きやすく、とてもいいコースです。

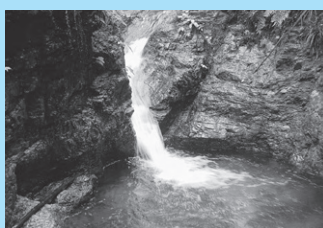


1ここが入り口です。2入り口を入ると、すぐに遊歩道が続きます。3舗装道路を渡ります。4なだらかな赤土の道。歩きやすく、とても気持ちのいい遊歩道です。5物見山からの展望。6物見山からの下り道。最大の難所。7遊歩道沿いに流れる川。8宿谷の滝。9出口付近は手すりや階段が整備されています。

### 水遊びは最高のアトラクション

なんとか関門を突破すると、せせらぎが聞こえてきました。ワクワクしながら進むと川沿いの遊歩道に出ました。アップダウンもほとんどなく、涼やかで気持ちのいい道です。そのまま小川に沿って歩くと、ひととき大きな水音がします。宿谷の滝です。かつて修験の場でもあったという滝の水は清らかで、周囲を囲むした岩壁に囲まれ、静寂に包まれています。滝の高低差は12メートルですが、淵の深さは子どもの膝丈ほどで、子どもが遊ぶのにぴったりです。山歩きの汗を流したり、小川で水遊びをしたりするのも素敵です。

後ろ髪を引かれつつ水辺を離れ、再び山のなかへ。ここから鎌北湖までは、高低差が少なく距離も短いため、あっという間です。滝で大はしゃぎしても、なんとかたどりの着けるでしょう。  
テートなら最後に鎌北湖でスワンボートに乗るところですが、残念ながら一人歩きのため、駐車場に停めてある車に乗っておとなしく帰ることにしました。



・小滝

宿谷の滝からすこし歩いたところにある滝です。高低差は宿谷の滝より低いですが、深い淵に静かに流れ落ちる様子は、宿谷の滝とはまた違った魅力があります。



・東屋

ルート内には、複数の休憩場所があります。森のなかでお弁当を広げるのもおすすめです。

# 鎌北湖周辺

4



3



2



1



1スタートの毛呂駅。2キャンプ場と桂木観音方面への分かれ道。3遊歩道の入り口。4桂木川沿いにレンガ道が続きます。5・6おしゃれな木橋と石橋。7気持ちのいい山道。8桂木観音の入口。9桂木観音の前の駐車場からの眺望。毛呂山町が一望できます。



ぬける青空、涼やかな清流

ハイキングを楽しもう

## ゆずの散歩道

6



5



### 緑と小川を同時に楽しむ

海拔300メートルの桂木観音からの眺望を求めて、『ゆずの散歩道』を歩くことにしました。

赤い屋根がかわいらしいJR八高線毛呂駅から出発です。毛呂本郷交差点を過ぎて、レインボーアーチをくぐり、案内板にそって二股の道を桂木観音方面へ進みます。しばらくいくと、遊歩道の入り口が見えてきました。

遊歩道は桂木川（かわのまがわ）に沿って整備され、赤いレンガが敷き詰められています。

雨上がりは少し滑りやすいですが、緑と赤のコントラストがきれいです。道沿いに木を模した柵が続いていたり、おしゃれなデザインの木橋や石橋がかかっていたりして、写真を撮るのにぴったりです。山野と清流を眺めながら、のんびり散策を楽しむ気分は格別で、暑い日には、ちょっと小川に下りて足を浸すのも気持ちよさそうです。

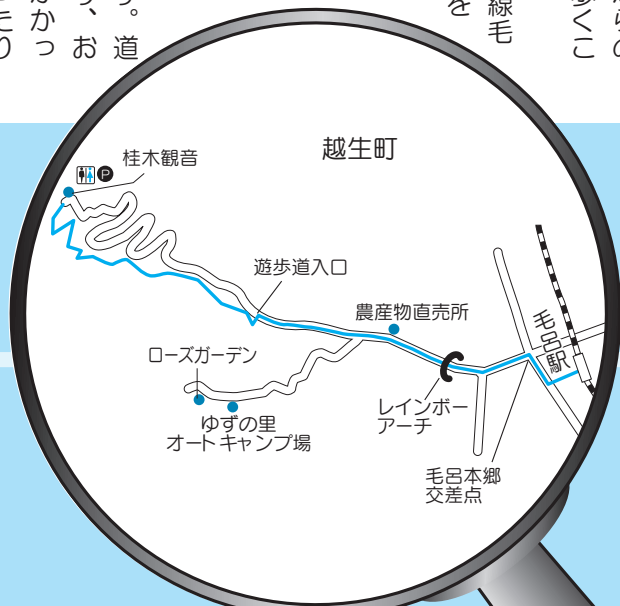
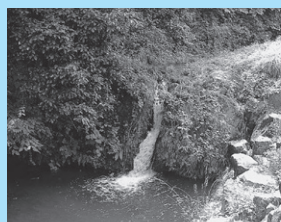
20分ほど歩くと、山道の入り口がありました。ここから少し山登りです。といっても、鎌北湖周辺を歩いたときより、ずっと傾斜がゆるく、簡単な山道です。今まで、開けた場所を歩いていたので、木陰のひんやりとした空気が気持ちよく、どんどん歩けます。

10分ほどで登りきり、舗装道路にでました。ここから、桂木観音までは目と鼻の先です。

一番、景色がきれいなのは、桂木観音

### ・塩沢の滝

遊歩道を歩いてすぐの場所にある小さな滝。水量は少ないですが、風情がある涼しげな滝です。



## INTERVIEW



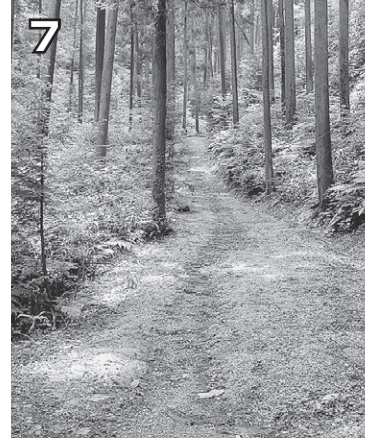
### 途中で出会ったハイカー

(ふじみ野市)

越生町から、桂木観音を通して降りる途中です。

このコースは何度も歩いていますが、季節ごとに、花や草木、景色が違って飽きません。誰でも気軽に楽しめる歩きやすいコースだと思います。

自然のなかになると、日常を忘れて、気持ちがリフレッシュします。絶え間ない鳥の鳴き声を聞きながら、緑のなかを歩くのはとても気持ちがいいです。



9

の前の駐車場です。毛呂山町が一望でき、最高の気分です。思わず、「ヤッホー」と叫びたくなりました。

その後、急な階段を登って桂木観音に到着です。歩き始めてから約1時間。境内にあるブランコをこぎながら、満足感をかみしめました。

帰りは少しルートを変えて舗装道路を歩いたり、ゆずの里オートキャンプ場を回って戻ります。あるいは、越生町の大高取山おほたかとりやまを抜けて越生駅に行ったり、近くの入浴施設でお風呂を楽しんだりするのも魅力的です。そのときの気分と体力に合わせて、さまざまなルートを選ぶことができます。

### ハイキングを終えて

身近にたくさん自然がある毛呂山町。実際に、歩いてみてその魅力を改めて実感しました。

ハイキングの途中で出会った人たちは、ほとんどがリピーターで「景色が美しく、歩いて楽しい場所」と口をそろえて語っていました。また近隣の市町だけでなく、東京都などからも数多くの人が訪れていました。

多くの人を惹きつけてやまない毛呂山町の緑と清流。この魅力を楽しまない手はありません。この夏は、ぜひハイキングにお出かけください。

ハイキングマップは、役場産業振興課商工観光係 ☎295-2112 内線175 または町ホームページで入手できます。

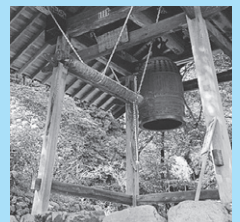
### ・桂木観音

行基上人ぎょうきしょうにんが東国行脚をした時、大和の葛城山あまのかつらぎに似ているところからカツラキと名付けたと伝えられ、入口には恵心作えしんの小柄な仁王像を安置している。



### ・桂木観音の鐘楼

入口のすぐそばにある鐘楼。記念に鳴らして帰る人も多い。



# ゆずの散歩道